

鋤柄農機(株)にて海外研修生が人力農機具などを体験

さる4月7日(月)、鋤柄農機(株)にて海外の農業研修生が農作業機について学び、工場を見学しました。

本研修は、発展途上国の社会・経済の発展を支援する国際協力機構(JICA)による平成20年度JICA集団研修「小規模農家用適正農機具開発普及コース」の一環として行われ、8各国10名の研修生が研修を受けました。



<挨拶する鋤柄国佐社長>

研修生は、小規模農家用の農機具開発や普及を目的に研修を受けており、当日は、人力用ハンドカルチベーターによる中耕・除草・培土作業を体験しました。アタッチメントを取り替えることで多様な作業に対応できる性能に、10名の研修生は高い関心を示していました。また、工場見学では、製品の素材や組立方法について質問が飛び交うなど、担当者の説明を熱心に聞いていました。

担当者いわく「今後も、積極的に研修生を受け入れ、途上国の農業開発を支援したい。」と今後も研修生の受入に積極的な姿勢を見せていました。

工場見学及び商品説明



圃場研修



以上